

第1回学校運営協議会

令和3年7月7日（水）



地域の方が御津高校に向いてくれて、もっとやれ、もっとやれと言えるような環境を作っていくことが大事だと思う。体育祭も自分たちで作って上げていって、失敗してもいいから、先生たちがカバーするからということで思い切ってチャレンジしよう！

岡山県教育庁高校魅力化推進室 視察
大塚愛県議も協議に参加

御津地域は専門家が多い。
専門家マップ（人材マップ）を作り生徒が問題解決にいかしていく。
文化マップ、特産品マップも同様である。



弓道部を作ろう！
地元の方がコーチ、指導者になって生徒が練習する。
地域の人と一緒に頑張るってやるというのもいいのでは？

- 授業では、先生方ひとり一人がしっかり工夫して要点をまとめてくれたり、ものすごくわかりやすく説明してくれていいと思う。
- 考える時間の確保について。正確な時間を伝えずに「考えてください」という先生がいる。時間が極端に短かったり、必要ないほど長かったり。5分とか10分とか言ってくれる先生もいて、個人的にはそのほうが集中できてしっかり考えられる

- 学び直しはモジュール、学び合いはルネスでの活動と、形としてできあがってきつつある。そういったところをアンバサダーの広報で生徒の取組、生徒と教員のつながりをアピールしていけば一つの強みになるのではないかなと思う。
- ルネス学では、自分たちで課題や問題を設定して仲間と一緒に行動できる。そこで人間関係も学べる。

